

2023 年度第 4 回日本技術士会埼玉県支部役員会議事録

日時	2023 年 08 月 05 日（土）09:30～12:00		
場所	武蔵浦和コミュニティセンター 第 8 集会室		
役員 (敬称 略)	出席者（五十音順 □出席、◇委任状出席、◆欠席）総数：25 名（内出席：21 名、委任状提出者 3 名） □石田正雄 □出森公人 □黒澤兵夫 □小柳直昭 □近藤訓 □近藤孝 □佐藤佳則 □穴戸富雄 □白岩信裕 □菅原宏 ◆高橋正人 ◇中田よしみ □埜本信一 ◇浜端英男 □長谷川俊一 □速川敦彦 □平松達生 ◇伏見隆夫 □藤田賢二 □増古恒夫 □松本良一 □村山肇 □山田敏広 □横山正巳 □若林直樹		
配布資料	資料 1	2023 年度第 3 回日本技術士会埼玉県支部役員会議事録	P 1, 2
	資料 2	委員会委員の異動の件	3
	資料 3	災害時安否確認及び対策マニュアルの件	4, 5
	資料 4	埼玉県支部委員会委員名簿	6, 7, 8
	資料 5, 6	2023 年度 7 月次会計収支について	9, 10
	資料 7	CPD 委員会行事計画報告	11
	資料 8	CPD 委員会 WG 検討結果概要	12
	資料 9	科学技術振興委員会報告	13, 14
	資料 10	地域産業支援委員会報告	15, 16, 17
	資料 11	地域活性化委員会報告	18
	資料 12	総務企画委員会の活動報告	19, 20

議題

(1) 出席者および委任状提出者の確認（白岩委員長）

役員会は出席 21 名、欠席 4 名（内委任状出席 3 名）で、成立することを確認した。

(2) 議事録署名人と議事録作成者の確認

議事録署名人を近藤孝幹事、佐藤佳則幹事、議事録作成者を村山肇幹事とすることが承認された。

(3) 前回議事録の確認（白岩委員長）【資料 1】

2023 年度第 3 回埼玉県支部役員会議事録は、短期間ではあるがすでに役員間でメール審議を実施している。特に異論はなく承認を確認した。

(4) 新支部長挨拶と活動報告（石田支部長）

- 1) 年次大会は支障なく行えたと思う、ただし自分の考えがうまく伝えられたかどうか心配。
- 2) 支部長就任に当たり、埼玉県産業労働部・SAITEC・埼玉大学に挨拶にうかがった。特に埼玉大学からは、技術士のイメージアップとしてアニメの活用を助言され、また埼玉大学の学生は社会貢献への関心が高いとの情報を頂いた。

(5) 審議事項

1) 委員会委員移動の件【資料 2】（白岩委員長）

科学技術振興委員会、地域産業支援委員会、地域活性化委員会の委員の異動があり、承認された。

2) 埼玉県支部災害時安否確認及び対策マニュアル作成承認の件【資料 3】

近藤副支部長より、資料 3 に基づき当初「緊急事態対策規定」としたが「災害時安否確認及び対策マニュアル（手順書）」に変更したと説明があった。この「マニュアルを作ること」について、本日審議の上決定したいと伝えられ、審議に入った。

質疑・応答が多数なされ、30 分にわたり議論された。議論ではマニュアルの要否と共に、要る場合の安否確認緊急連絡網での個人情報の取り扱いや安否確認対象者の範囲についても意見交換がなされた。

「マニュアル作りへの賛否」について採決を取った結果、「賛成多数」で承認され、マニュアルの内容は今後、提案された内容を検討することになった。

3) 次回役員会での審議事項の提示：情報管理者等の登録更新の件（白岩委員長）

支部役員改選に伴う異動により、情報管理者、代表者メール受信者の登録変更が必要となった。次回役員会で審議し承認を受ける。

(6) 支部月次会計及び各委員会活動報告

1) 月次会計【資料 5, 6】(菅原会計幹事)

資料に基づき説明があった。

2) CPD 委員会【資料 7, 8】(菅原委員長)

CPD 行事計画についての報告があった。また、3月に実施した CPD 行事に関するアンケートに対する「CPD 委員会 WG 検討結果概要(資料 8)」内容の補足説明が行われた。

3) 科学技術振興委員会【資料 9】(佐藤副委員長)

資料に基づき、7月に実施された理科教室の活動内容について説明があった。

これに対し単に報告だけでなく、成果や課題についても報告してほしい、との要望がだされた。

4) 地域産業支援委員会【資料 10】(近藤委員長)

① 下垣委員の退任を追加報告。

② 防災支援活動の説明と補足。

③ 次回ビジネスアリーナにおける出展は、リアルとオンラインで行う。理由はオンライン出展のみでは効果が不明なためである。

④ 新しい講師による「コーチング体験研修」は非常に良かった。次回からは募集対象範囲を広げる。

⑤ 11月24日開催予定の「彩の国産業活性化交流会」について説明がなされ、特別講演は理化学研究所にお願いしていると述べられた。

この報告に対し、技術士による「こんな支援ができます」の内容は、説明を受ける対象者は一般の方であり技術士研究業績発表会ではない、ということを発表者に認識させてほしいとの意見が出された。

5) 地域活性化委員会【資料 11】(若林委員長)

① 北部地域小委員会(小柳小委員長)

* 9月7日開催の見学会(日本キャタピラー社)は、下見も終え準備完了。

* 商工会議所訪問活動も3年ぶりに再開、「ものづくり熊谷」の総会に参加した。

② 西部地域小委員会(近藤訓小委員長)

* 見学会は9月28日に「住田光学ガラス」で実施する。すでに募集を開始した。

* かわごえ産業フェスタに出展申し込みをした。抽選の可能性はあるが、8月22日に結果は判明する。

③ 東部地域小委員会(平松小委員長)

* 7月23日に越谷市中央市民会館で理科教室を開催。

* 越谷市児童館に、館長判断によりチラシを置いていただいた。

* 11月4日にオンライン講演会を開催予定。講師は(株)エフエムこしがやの越野社長にお願いした。

6) 総務企画委員会【資料 12】(白岩委員長)

① 年次大会 CPD 講演に対する質問はアンケートに多数寄せられ、講師に回答を依頼中。回答受領後参加者に配信予定。(経緯：質疑応答時間がなくアンケートに質問記載、司会者要請、講演者了承。)

② 広報関連：埼玉県支部案内リーフレット更新版は500部印刷済み、要望あれば SKIP 事務所へ申し入れ

要。

10月発行の広報誌の原稿は全て執筆依頼済み。支部紹介動画は年内に完成予定。(出森幹事)

③ 役員会資料は、修正したものを幹事に再送信する。

④ 役員会の前期交通費精算を次回の役員会時に行う。

⑤ (要望) 議事録の修正について、下記の意見と要望が出された。

* 議事録等の修正に当たっては、その内容がわかるよう幹事全員に「CC」で流してほしい。

* その際、修正前と修正後が明確にわかるように記載してほしい。

(7) 支部活動に関わる意見交換「次の10年間の支部活動を考える」

支部長から意見交換の意義について見解が述べられた。「提案のあった「公共放送」を支部活動に活かすかを含め、「地域産業支援委員会における議論」の内容他、皆様の意見を聞くことで、次の10年間の埼玉県支部の活動を考えるキックオフとしたい。」

1) 公共放送の活用についてのディスカッション(意見抜粋)

* 防災支援について、公共放送を利用する意義からディスカッションしたい。

* 本部でも使用しているようなので、公共放送利用に賛成である。

- * 目的を明確にし、その効果があるのなら良い。但し、効果を明確にするのは難しく定量的でなく定性的でよいと思う。
- * 効果に重きを置いたら、かえって新しい動きの芽を摘むことになると思う。
- * インターネット、ユーチューブ等も公共放送に含むか検討が必要である。
- * SNS はフリーでありこれは考えられない、ユーチューブは今後の検討課題である。
- * 公共放送利用では、本来本部でする事と県支部でする事を区分しなければならない。
- * 来年度の予算を考慮すると、早く企画書の立案が必要である。

2) 地域産業支援委員会の議論内容

時間不足のため、本件議論せず。

これに対し、支部長から以下指示がなされ、閉会となった。

「地域産業支援委員会の議論内容もディスカッションの予定であったが、時間切れとなった。ご参考までにデータ（地域産業支援委員会議論内容）を幹事全員に送るので目を通していただきたい。そしてその内容に対する意見並びに、各自お持ちの意見を支部長あてに提出していただきたい。」

次回
会議

2023 年度第 5 回日本技術士会埼玉県支部役員会 2023 年 10 月 7 (土) 9 : 30~12 : 00
武蔵浦和コミュニティセンター 第 3 集会室